村山市行財政改革推進プラン2022の概要

第1章　行財政改革に係る現状等

1　**行財政改革に係るこれまでの取組と成果**
村山市集中改革プラン　〔Ｈ１７～Ｈ２１〕
村山市集中改革プラン（第2次）〔Ｈ２２～Ｈ２６〕
村山市集中改革プラン（第3次）〔Ｈ２９～Ｒ３〕
⇒職員数や財政収支の推移、取組成果を記載。

2　**本市を取り巻く現状と課題**
人口、公共施設に係る現状と課題
⇒本市の人口の推移と推計、公共施設の管理状況を記載。

3　**国における行財政改革に係る動向**
令和3年6月に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、デジタル化の加速を推進するとしている。

4　**財政収支と職員数の見通し**
今後5年間の財政収支と職員数の見通しを記載。

第2章　行財政改革の基本方針等

1　**新たな行財政改革の必要性**
行政事務の複雑化・多様化、コロナ禍における効率的なサービス提供のため、時代に即した取組が求められる。

2　**プランの位置付け**
第５次村山市総合計画（第５章－第２節－①市民に開かれた健全な行財政運営、②行政サービスの向上と人材育成）に位置付け

3　**プランの期間**
令和４年度～令和８年度（５年間）

4　**プランの進行管理**
毎年度実施状況をフォローアップ

5　**行財政改革の基本的な考え方と今後の市政運営**
SDGsの反映、自治体DXの推進、新型コロナウイルス感染症への対応を記載。基本方針とプログラムは以下に記載。

基本方針1　効率的な行政サービスの推進

≪プログラム≫

①行政のデジタル化による業務効率化
- 押印の見直し
- キャッシュレス決済の推進
- 行政手続のオンライン化の推進ほか

②市民サービスの向上
- SNSを活用した情報発信の拡充
- 交通インフラの充実

③次期基幹系システムの構築
- ガバメントクラウドに向けての整備
- 内部業務のシステム化

基本方針2　持続可能な財政基盤の構築

≪プログラム≫

①健全な財政運営
- 市債残高の削減
- 公共施設等の保有総量縮小の検討
- 省エネルギーの推進ほか

②歳入の確保
- ふるさと納税の推進
- 宅地・工業団地整備の推進ほか

③民間活力の導入
- 指定管理・民間委託等の推進
- PPP/PFI手法の活用ほか

④地方公営企業の経営健全化
- 水道・下水道事業経営の安定化
- 水道事業における広域連携の推進

基本方針3　人材育成と組織体制の構築

≪プログラム≫

①人材の確保と育成
- 多様な人材の確保
- 職員の更なる資質向上

②多様で柔軟な働き方の推進
- テレワークの推進
- ワーク・ライフ・バランスの推進

③組織･業務体制の見直し
- 定員管理の適正化
- 市民ニーズに対応した組織づくり
- 消防業務の広域化の検討